

「地域を愛し、自分で考え、自分で行動する子ども」を育てる

コミュニティ・スクール 通信

令和2年度 第1号 6月12日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博



「日の里学園コミュニティ・スクール」とは？

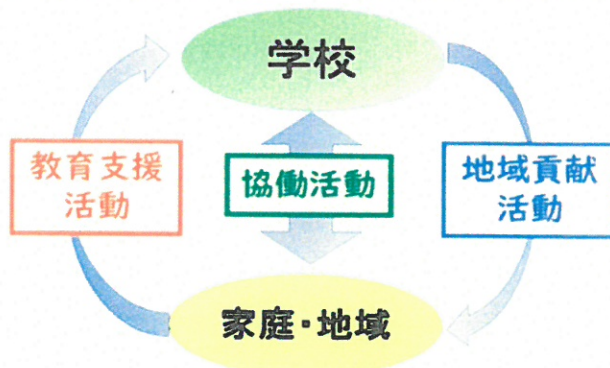
「コミュニティ・スクール」とは、地域住民や保護者の皆さんが、さらに学園の運営に参画しやすくなる仕組みです。また、地域、家庭、学園が共通の目標を持ち、それぞれ教育の当事者として活動することを通して、学校や家庭教育の充実、地域の活性化や福祉・防災活動の充実をめざす仕組みでもあります。

そのために、地域、家庭、学校等の代表者で構成する「学園運営協議会」において、「地域、家庭、学園で連携して、どのような活動を計画・実施し、その結果はどうか」などについて、報告・協議し合うようになっています。

日の里学園では、地域・家庭と学校が関わり合う活動を「教育支援活動」「協働活動」「地域貢献活動」の3つに整理し、それぞれの活動をサポートする部会を設定し、3つの活動の充実を図っていくことにしています。



日の里学園の3つの連携活動



第1回学園運営協議会

6月10日（水）に、本年度初めての日の里学園「学園運営協議会」が、コロナ対応で間隔をとった形で行われました。

主な内容は、運営協議会の委員14人の委嘱と紹介、本年度の日の里学園の経営計画の承認、地域、家庭、学校の近況報告でした。

協議の中で、日の里の地域・家庭・学校で「地域を愛し、自分で考え、自分で行動する子どもの育成」を共通の目標とすることや、それぞれが相互に協力・協働し合って、子育てと地域活性化に努めていくことなどが確認されました。

